



## 答え合わせ・解説

問1	答え 4 武帝	武帝は、儒教を国家の公認学問として採用し、官吏の登用試験などを通じて儒教を社会の規範としました。また、領土拡大にも力を入れ、現在の中国に近い版図を築き上げました。
問2	答え 2 モスク	モスクは礼拝を行う場所であり、美しいドームやミナレット（塔）が特徴です。建物内には偶像を置かず、メッカの方角を示す壁のくぼみであるミフラブが設けられています。
問3	答え 1 インダス文明	インダス文明は、計画的に建設された都市が特徴で、現在も解読されていない独特の文字が使用されています。社会には明確な都市計画が存在し、衛生的な公共施設が整備されていました。
問4	答え 3 下水道	モヘンジョ・ダロの各家庭には排水口があり、そこから道路の下に埋められたレンガ造りの下水道へと污水が流れる仕組みになっていました。このような高度な都市インフラは、当時の他の地域の都市と比べても非常に先進的なものでした。
問5	答え 4 チグリス川	チグリス川とユーフラテス川は定期的に氾濫し、そのたびに肥沃な土壌が供給されたため、農業が急速に発展しました。
問6	答え 2 印章	インダス文明の遺跡からは、滑石などで作られた「印章」が大量に見られています。この印章には、独特のインダス文字とともに、牛や象、虎などの動物が精巧に彫り込まれていました。これらは商取引の際に物品に押しつたり、身分証明として使われたりしたと考えられています。
問7	答え 4 旧石器時代	この時代の人々は、石を打ち欠いて作った「打製石器」を道具として使い、群れて移動しながら動物を狩ったり、木の実などを集めて生活していました。定住する場所は洞窟や簡易的なテントのような場所が中心で、獲得できる食料に合わせて広範囲を移動していました。
問8	答え 2 太陰暦	月の満ち欠けの周期を約29.5日とし、それを12回繰り返して1年とする太陰暦がつけられました。また、60進法を用いた数や時間の単位など、現代の私たちの生活にもつながる数学的知識がこの時代に発展しました。
問9	答え 3 ミラノ勅令	コンスタンティヌス大帝によって出されたミラノ勅令は、キリスト教を含むすべての宗教の自由を認め、これまで行われてきたキリスト教徒への迫害を停止させる画期的な出来事でした。これにより、信徒の財産が返還されるなど、宗教活動が公的に保証されました。
問10	答え 2 のろし	のろしは、山頂や監視塔で薪を燃やし、その煙の色や形、数によって敵の接近などの情報を合図として伝える通信手段です。これにより、軍隊は迅速に対応することができました。
問11	答え 1 弥生時代	弥生時代には、稲作による集団での農耕作業が社会の基盤となりました。この時期に大陸から伝来した青銅器は、実用品というよりも祭りや儀式で用いる宝器として重要視され、銅鐸などが製作されました。また、武器として鉄器も伝わり、収穫物を巡る争いから集落を守るための環濠集落なども作られました。
問12	答え 3 春秋戦国時代	この時代には、孔子のような「諸子百家」と呼ばれる思想家たちが現れ、社会を安定させるための様々な政治理論を提唱しました。
問13	答え 4 新約聖書	新約聖書は、イエスの生涯を記した「福音書」を中心に、弟子の使徒たちが書き残した書簡や、世界の終末を預言した書物などで構成されています。信者たちにとっての基本的な道徳や、信仰生活の規範がここに示されています。
問14	答え 4 スペイン人	スペイン人のフランシスコ・ピサロが少数の兵を率いてインカ帝国に上陸しました。インカ帝国は当時、内乱や疫病の影響で弱体化しており、馬や鉄の武器、火器を用いたスペイン人の軍勢に対抗することができませんでした。1533年に皇帝アタワルパが処刑され、インカ帝国は事実上の滅亡を迎えました。
問15	答え 2 下水道	都市には住宅から污水を流すためのレンガ造りの下水道が完備されていました。これは紀元前の文明としては極めて珍しく、当時の人々の衛生意識の高さと優れた土木建築技術を示しています。
問16	答え 1 ナイル川	ナイル川のこの性質により、川沿いでは古代から安定した農業が営まれました。毎年決まった時期に氾濫するため、人々はいつ種をまき、いつ収穫すべきかを知るための暦を発達させる必要がありました。これにより文明が発展しました。